

令和5年度(令和4年度実施)公立学校教員採用選考試験の実施方法のポイント

結果概要

文部科学省では、都道府県・指定都市教育委員会等(計68)が実施した公立学校教員採用選考試験の実施方法について調査を実施している。このたび、令和4年度に実施された令和5年度採用選考の実施方法を取りまとめた。

○特別の選考の実施状況(／68県市) ※カッコ内は令和3年度試験の数値。

※「特別の選考」には、一部試験免除、加点、特別免許状を活用した選考、その他の特別選考を含む。

英語の資格等	: 63県市(63県市)	スポーツの技能や実績	: 42県市(43県市)
芸術の技能や実績	: 20県市(22県市)	国際貢献活動経験	: 40県市(39県市)
民間企業等経験	: 59県市(56県市)	情報処理技術等の資格	: 24県市(10県市)
教職経験	: 68県市(68県市)	前年度試験での実績	: 53県市(49県市)
複数免許状の所持	: 55県市(48県市)	いわゆる「教師養成塾」生	: 12県市(11県市)
博士号取得	: 9県市(9県市)	臨床心理士、公認心理士等	: 13県市(11県市)

○実技試験の実施状況(／68県市) ※カッコ内は令和3年度試験の数値。

※令和5年度採用選考試験においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、特に小学校教員採用選考で実施を取り止めた自治体が多数。

【小学校】	音楽	: 12県市(16県市)	図画工作	: 1県市(1県市)
	体育	: 12県市(14県市)	外国語	: 19県市(22県市)
【中学校】	音楽	: 65県市(58県市)	美術	: 63県市(56県市)
	保健体育	: 63県市(57県市)	英語	: 64県市(57県市)
【高等学校】	音楽	: 45県市(35県市)	美術	: 45県市(36県市)
	保健体育	: 53県市(46県市)	英語	: 54県市(48県市)

○秋募集等の特別選考を実施した県市(／68県市)

令和5年度採用選考試験において、秋期～冬期にかけて教職経験者や民間企業経験者等を対象とした採用選考を実施したのは以下の20県市(令和3年度選考は7県市)。

北海道、茨城県、埼玉県、岐阜県、三重県、兵庫県、和歌山県、島根県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県、さいたま市、相模原市、神戸市、北九州市、福岡市

調査結果を踏まえた文部科学省の今後の対応

- ✓ 現在、各教育委員会で行われている教員採用選考試験における取組に関し、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の構築に資する観点での特別な選考について、広く知見を共有し、選考試験の改善を促していく。
- ✓ 令和4年12月に中央教育審議会において取りまとめられた「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について(答申)」の内容や「公立学校教員採用選考試験の早期化・複数回実施等について 方向性の提示」(令和5年5月)を踏まえ、教師の採用における改善策について、実効性のある方策を実施していく。

1. 試験実施時期、採用説明会・採用選考試験の実施場所(第1・4表より抜粋)

- 多くの県市では、7月に1次試験、8月に2次試験を実施。全体的に早期化の傾向。
- 自らの都道府県外において採用説明会や採用選考試験を実施する県市は前回調査に続き増加。

＜採用説明会の実施場所（／68県市）＞

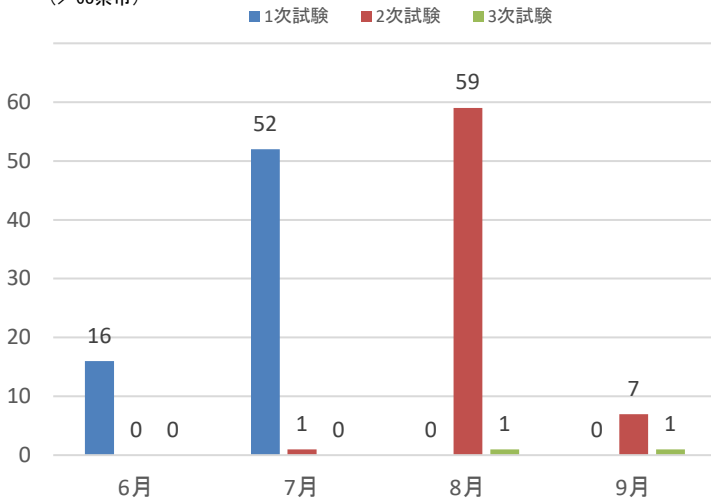
- ①自らの都道府県内に : 50県市 (39県市) において実施
- ②近隣の都道府県において実施 : 33県市 (21県市)
- ③近隣の都道府県以外の : 19県市 (10県市) 主要都市において実施
- ④オンラインにて実施 : 48県市 (25県市)

(注) カッコ内は令和3年度試験の数値。

(参考) オンラインにて採用説明会を実施した県市 : 北海道、青森県、岩手県、宮城県、山形県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、富山県、石川県、福井県、長野県、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、京都府、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、熊本県、大分県、沖縄県、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、熊本市、豊能地区

図1 試験実施時期

(／68県市)



(注) 試験を複数月にわたり実施している県市については、開始日が属する月で表記。

＜採用選考試験の出願期間（／68県市）＞

- 出願開始は4月が多く、締切は5月までの県市が多い。

	3月	4月	5月	6月
出願開始日	2	47	19	0
出願終了日	0	5	59	4

＜採用選考試験の実施場所（／68県市）＞

- 自らの都道府県外でも実施 : 24県市 (17県市)

(注) カッコ内は令和3年度試験の数値。

(参考) 今年度より新たに実施場所を増やした県市 : 北海道、福島県、茨城県、東京都、島根県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、川崎市、熊本市

2. 秋募集等の特別選考を実施した県市 (第2表より抜粋)

＜秋募集等の特別選考を実施した県市＞ : 20県市 (7県市)

北海道、茨城県、埼玉県、岐阜県、三重県、兵庫県、和歌山県、島根県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県、さいたま市、相模原市、神戸市、北九州市、福岡市

(注1) カッコ内は令和3年度試験の数値。

(注2) 秋期～冬期にかけて行った、教職経験者や民間企業経験者等を対象とした採用選考を実施した県市

3. 地域枠を設けた選考を実施した県 (第3表より抜粋)

＜地域枠を設けた選考を実施した県＞ : 14道府県 (11道府県)

- 小学校 : 北海道、宮城県、福島県、新潟県、長野県、京都府、兵庫県、島根県、岡山県、高知県、佐賀県、長崎県、宮崎県
- 中学校 : 北海道、福島県、新潟県、長野県、京都府、島根県、岡山県、高知県、佐賀県、宮崎県
- 高等学校 : 福島県、岐阜県、京都府、島根県
- 特別支援学校 : 岐阜県、京都府
- 養護教諭 : 福島県、長野県、岡山県、佐賀県、宮崎県
- 栄養教諭 : 宮崎県

(注) 指定された地域で、一定の期間勤務できることを条件とした選考等

4. 特別の選考の実施状況(第8表より抜粋)

- 英語の資格等や民間企業経験などを加味する特別の選考を実施する県市が増加。
- 特に、教職経験を加味した特別の選考は全自治体で実施。
- 情報処理技術等や臨床心理士、公認心理士等の専門資格を加味した選考も行われている。

<特別の選考の実施状況(／68県市)>

○英語の資格等	: 63県市 (63県市)	○教職経験	: 68県市 (68県市)
○スポーツの技術や実績	: 42県市 (43県市)	○前年度試験での実績	: 53県市 (49県市)
○芸術の技能や実績	: 20県市 (22県市)	○複数免許状の所持	: 55県市 (48県市)
○国際貢献活動経験等	: 40県市 (39県市)	○いわゆる「教師養成塾」生	: 12県市 (11県市)
○民間企業等勤務経験	: 59県市 (56県市)	○大学・大学院推薦	: 40県市 (32県市)
○情報処理技術等の資格の所持	: 24県市 (10県市)	○教職大学院修了	: 18県市 (13県市)
		○博士号取得	: 9県市 (9県市)
		○臨床心理士、公認心理士等	: 13県市 (11県市)

(注1) カッコ内は前年度の数値。

(注2) 「特別の選考」には、一部試験免除、加点、特別免許状を活用した選考、その他の特別選考を含む。

(注3) 「英語の資格等」には、英語の資格・試験成績、技能や実績、留学経験や英語ネイティブ等を含む。

(注4) 「国際貢献活動経験等」には、青年海外協力隊、在外教育施設での指導経験、外国人児童生徒等への対応に係る経験・専門性等を含む。

<今年度調査より新たに特別の選考を実施した県市>

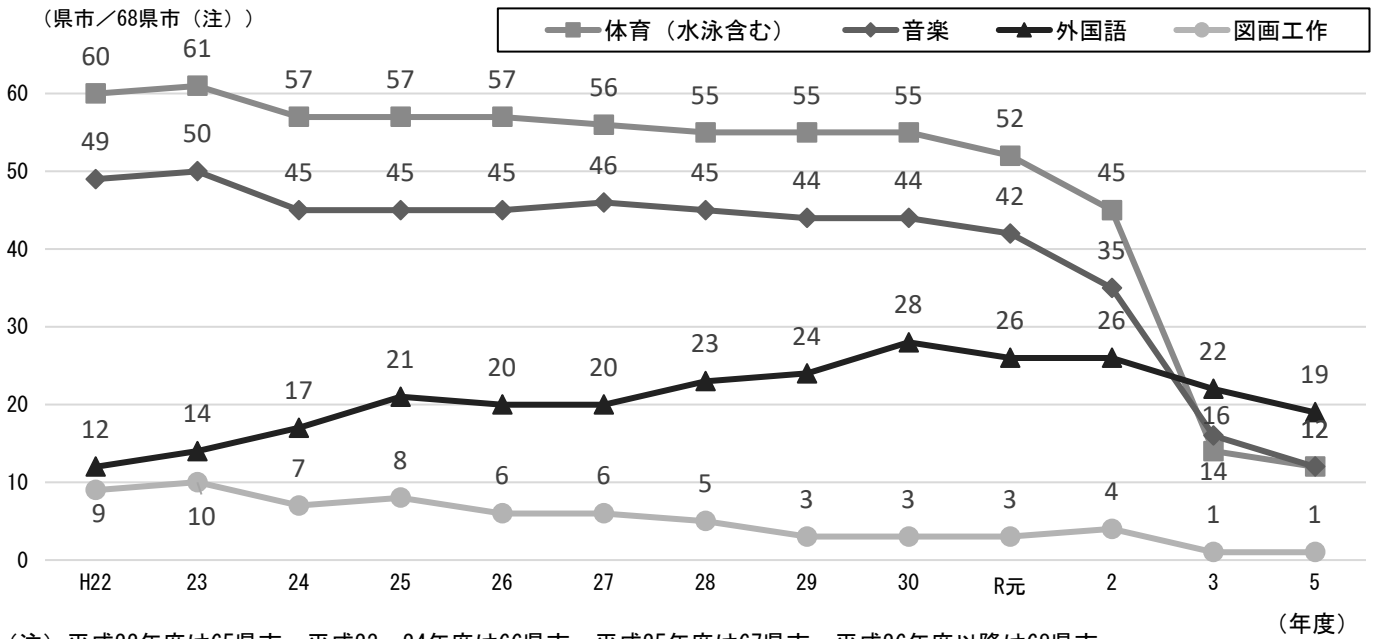
○スポーツの技術や実績	: 福島県、さいたま市、熊本市
○芸術の技能や実績	: さいたま市
○国際貢献活動経験等	: 長野県、大阪府、北九州市
○民間企業等勤務経験	: 福島県、仙台市、北九州市
○情報処理技術等の資格の所持	: 福島県、群馬県、山梨県、岐阜県、滋賀県、京都府、兵庫県、山口県、福岡県、長崎県、宮崎県、浜松市、名古屋市
○複数の教員免許状の所持	: 栃木県、福井県、香川県、福岡県、さいたま市、名古屋市、北九州市、熊本市
○前年度試験での実績	: 山形県、山梨県、大分県、仙台市、岡山市
○いわゆる「教師養成塾」生	: 茨城県
○大学・大学院推薦	: 山形県、石川県、島根県、広島県、愛媛県、長崎県、広島市、福岡市
○教職大学院修了	: 茨城県、島根県、香川県、福岡県、宮崎県、鹿児島県
○司書教諭任用資格の所持	: 岩手県、神奈川県、福井県、滋賀県、熊本市
○臨床心理士、公認心理士等	: 神奈川県、長崎県
○社会福祉士、精神保険福祉士等	: 兵庫県、長崎県

(注) 令和3年度試験と比べ、令和5年度試験において新たに実施した県市

5. 1. 実技試験の実施状況－小学校(第5表より抜粋)

○令和3年度採用選考(令和2年度実施)以降は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、小学校の実技試験を取りやめた自治体が多数。

図2 実技試験の実施状況【小学校】



5. 2. 実技試験の実施状況－中学校・高等学校(第5表より抜粋)

<実技試験の実施状況【中学校】(／68縣市)> <実技試験の実施状況【高等学校】(／68縣市)>

- 音楽 : 65縣市 (58縣市)
- 英語 : 64縣市 (57縣市)
- 保健体育 : 63縣市 (57縣市)
- 美術 : 63縣市 (56縣市)

(注) カッコ内は令和3年度試験の数値。

- 音楽 : 45縣市 (48縣市)
- 英語 : 54縣市 (46縣市)
- 保健体育 : 53縣市 (35縣市)
- 美術 : 45縣市 (36縣市)

(注) カッコ内は令和3年度試験の数値。

6. 面接試験、作文・小論文、模擬授業、場面指導等の実施状況(第6～8表より抜粋)

<面接試験の実施状況(／68縣市)>

- 実施時期
 - ・1次試験で実施 : 29縣市 (25縣市)
 - ・2次試験で実施 : 67縣市 (65縣市)
 - ・3次試験で実施 : 2縣市 (2縣市)
 - ・1次・2次両方で実施 : 28縣市 (22縣市)
 - ・2次・3次両方で実施 : 2縣市 (2縣市)
- 面接方法
 - ・個人面接を実施 : 68縣市 (68縣市)
 - ・集団面接を実施 : 38縣市 (28縣市)
 - ・個人・集団両方を実施 : 38縣市 (28縣市)

(注) カッコ内は令和3年度試験の数値。

<その他試験の実施状況(／68縣市)>

- 模擬授業 : 41縣市 (41縣市)
- 作文・小論文 : 36縣市 (33縣市)
- 適性検査 : 30縣市 (29縣市)
- 場面指導 : 30縣市 (32縣市)
- 指導案作成 : 8縣市 (7縣市)

(注) カッコ内は令和3年度試験の数値。

7. 大学院在学者・進学者に対する特例の実施状況(第9表より抜粋)

<大学院在学者・進学者に対する特例の実施状況(ノ68縣市)>

- 特例を実施 : 66縣市 (66縣市)
- 特例の実施内容
 - ・名簿登載期間延長 : 63縣市 (62縣市)
 - ・一部試験免除 : 8縣市 (6縣市)
 - ・その他の特別の選考 : 2縣市 (4縣市)

(注1) カッコ内は前年度の数值。

(注2) 「大学院在学者・進学者に対する特例」とは、教職大学院を含む大学院在学や進学を理由に採用を辞退した者に対し、採用候補者名簿登載期間の延長や次年度以降の一部試験免除・特別の選考など特例的な措置を行うこと。

8. いわゆる「教師養成塾」の実施状況(第9表より抜粋)

<「教師養成塾」の実施状況(ノ68縣市)>

- 小学校 : 26縣市 (24縣市)
- 中学校 : 21縣市 (19縣市)
- 高等学校 : 12縣市 (12縣市)
- 特別支援学校 : 14縣市 (13縣市)

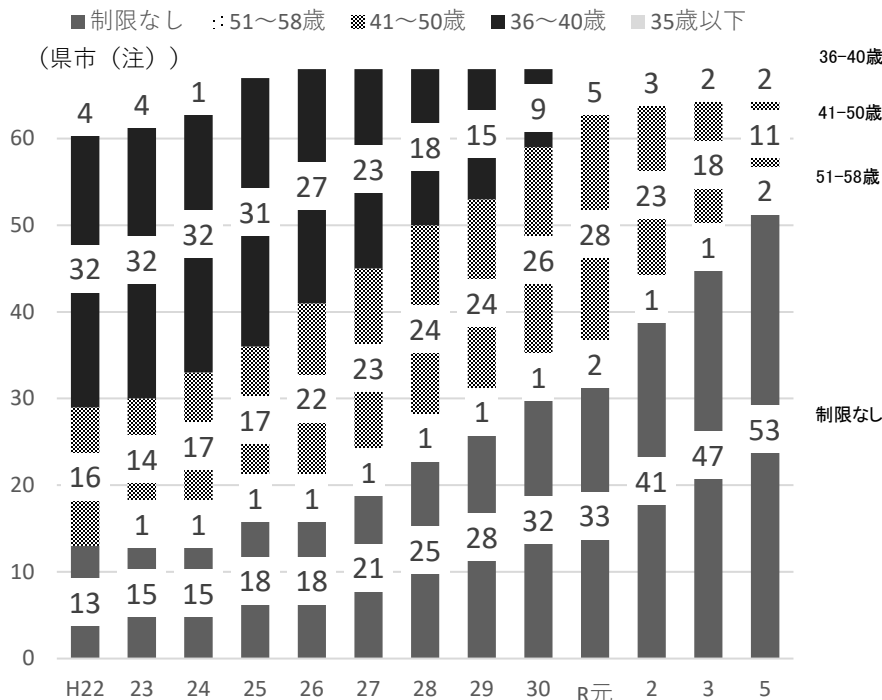
(注1) 対象校種ごとの実施状況

(注2) 「教師養成塾」とは、教育委員会が学生等に講習を提供し、円滑な入職を支援する取組

9. 受験年齢制限の状況(第10表より抜粋)

○「制限なし」が53縣市で、令和3年度調査の47縣市から増加しており、年齢制限の緩和が進んでいる。

図3 採用選考における基本的年齢制限



今年度に変更のあった縣市

縣市名	基本的年齢制限
栃木県	44 → 制限なし
山口県	49 → 制限なし
徳島県	49 → 制限なし
長崎県	49 → 制限なし
熊本県	49 → 制限なし
鹿児島県	49 → 54
京都市	49 → 制限なし

(出典) 文部科学省「公立学校教員採用選考試験の実施方法について」

(注1) 平成22年度は65縣市、平成23・24年度は66縣市、平成25年度は67縣市、平成26年度以降は68縣市

(注2) 「基本的年齢制限」とは、一般選考の中心的な校種(小学校や中学校)における年齢制限

(注3) 「制限なし」は各年4月1日現在で満59歳以下の者を対象